

科目名称 (Course Title)				担当教員 (Instructor)	
地域経営演習Ⅲ				江上 直樹	
開講学期 (Semester)	単位数 (Credits)	履修年次 (Requirement)	授業形態 (Class Type)	受講定員の有無 (Maximum Enrollment)	授業公開 (Workshop Class)
前学期	2 単位	2 年次	演習	有 (連絡済)	
授業の概要 (Course Description)					
<p>教育法規の基本事項（日本の法体系、教育法規の種類、学習指導要領の位置づけ等）や、教育組織の基本事項（文科省および教育委員会の位置づけ、学校の組織運営と校務分掌等）、現在の教育政策の主要テーマについて、教育行政学の基本書の輪読を中心に学ぶ。</p> <p>教育政策の主要テーマの中でも特に取り上げるものとして、新学習指導要領にて提示されている「主体的・対話的で深い学び」を義務教育諸学校に導入するにあたり、その適切な学校組織のあり方について検討する。</p>					
授業の到達目標 (Course Objectives)					
<p>①教育法制等の教育政策上必要となる基本的な知識について修得する。</p> <p>②教育政策に関して、自身の関心のあるテーマを見つけることができる。</p> <p>③自身の関心のあるテーマについて、先行研究をふまえつつ自らの考えを論じることができるようになる。</p>					
授業計画 (Course Schedule)					
第 1 回	オリエンテーション：授業の進め方、役割分担				
第 2 回	前年度ゼミの取り組み内容の紹介				
第 3 回	教育行政の概念（教育行政の特質、教育行政の定義）				
第 4 回	教育政策と教育行政				
第 5 回	教育法規の意義、教育法規の体系				
第 6 回	教育行政の基本原則				
第 7 回	中央教育行政の組織				
第 8 回	地方教育行政の組織				
第 9 回	学校経営、学校組織				
第 10 回	生涯学習行政				
第 11 回	教育行政と教育財政の関連				
第 12 回	教育課程行政				
第 13 回	関心のあるテーマを見つけるための文献調査①				
第 14 回	関心のあるテーマを見つけるための文献調査②				
第 15 回	まとめ				
授業時間外学習 (Supplementary Activities)					
<p>調査の状況に応じて、文献調査やグループディスカッション等が授業時間外でも必要となる。具体的な方法については適宜授業内で指示する。</p>					

成績評価の方法と基準(Grading)	
評価方法 (割合)	評価基準
授業への取り組み姿勢 (50 %) 小課題・レポート作成 (50 %)	本授業は地域への訪問等を実施する演習ということもあり、授業を成立させるうえで、受講生の積極的な姿勢が必要不可欠である。そのため、成績評価においても授業への取り組み姿勢(出席、授業中の発言、グループワーク時のリーダーシップ等)を重要視する。具体的な成績評価の点数配分については、授業時に提示する。
テキスト (Textbook)	【書名】 【著者】 【出版社】 【出版年】
参考書・資料等 (Supplementary Reading)	授業時に適宜提示する。
備考 (Other Information)	フィールドワークを実施する関係上、事前連絡なしの欠席は授業の進行の妨げとなる。毎回出席することを基本とし、事情により出席が困難な場合は、事前に担当教員まで必ず届け出ること。
教員との連絡方法 (Contact With Instructor)	研究室（4号館4階5研究室）へはいつでも訪問してよいが、席を外している場合も多いので、面談等を希望する場合はメール等（egami-naoki@fukuchiyama.ac.jp）で事前に連絡するのが望ましい。